

令和3年度地域おこし協力隊活動報告会 移住者による掛川での8ヶ月

2022年3月28日
掛川市地域おこし協力隊
芳川 翠

令和3年度 実施事項

ミッション

中山間地域の関係人口の増加



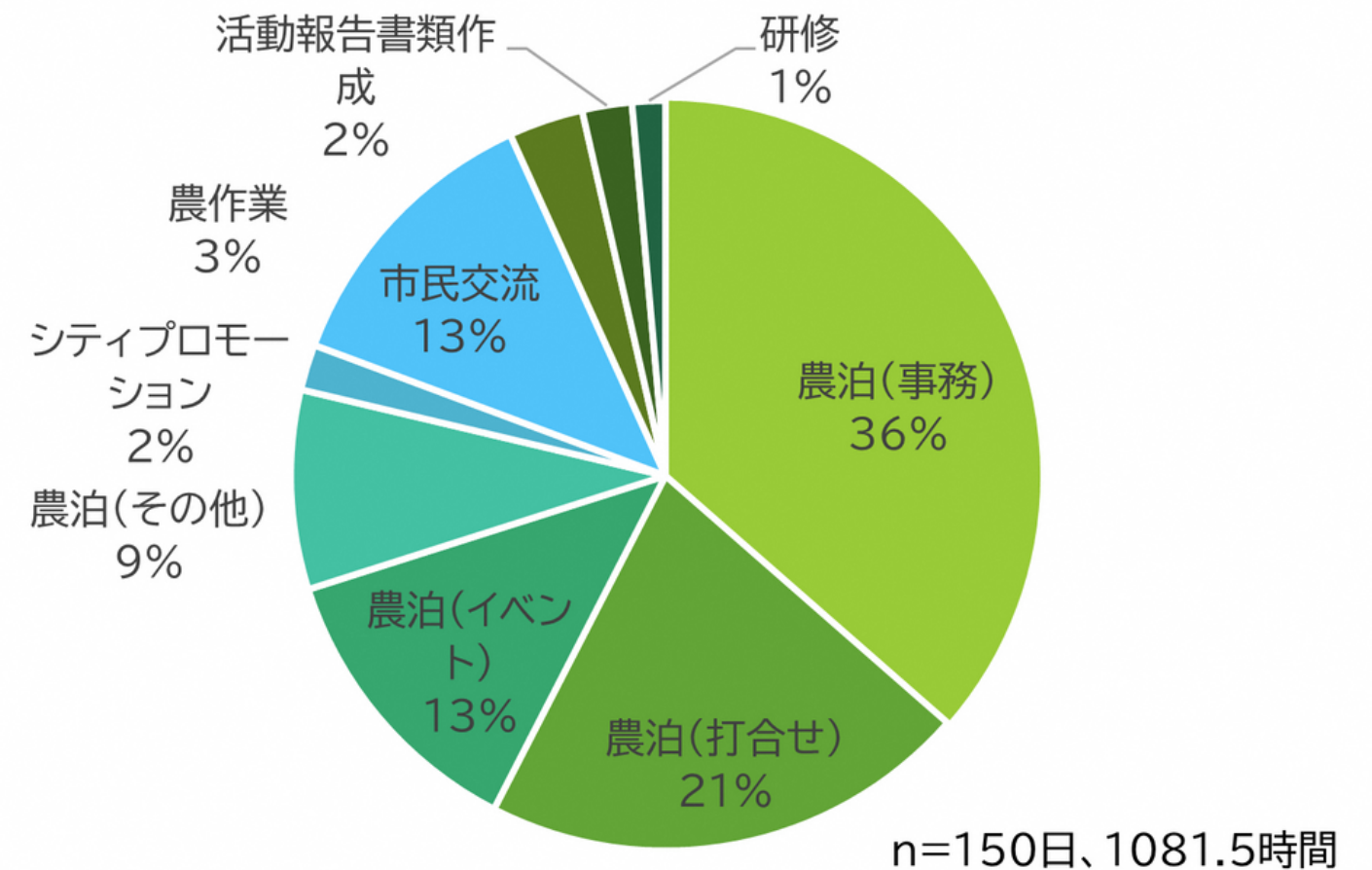
かけがわ栗ヶ岳山麓 農泊推進協議会の事務局

- 運営事務業務
- 4部会の運営
- ロゲイニングイベントの実施



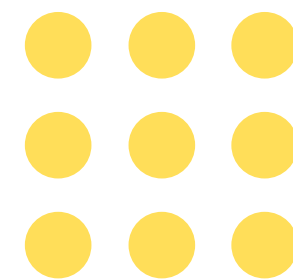
シティプロモーション

- SNSによる市内外へ掛川市をPR



※2022年3月18日時点

ロゲイニングイベントの実施



栗ヶ岳ファミリーロゲイニングの開催

- 11月3日（祝・水）栗ヶ岳ファミリーロゲイニングin東山を開催
- ファミリー部門：24チーム、一般部門：20チーム、合計44チーム ※プレス、モニターを含む
- 合計参加者人数：131人

参加者への改善ポイント

- 初回訪問者には栗ヶ岳周辺地域を知ってもらう、再訪問者には栗ヶ岳周辺地域の見どころやスポット再発見をしてもらえるような地元密着のチェックポイントに設定。
- 受付時円滑にスタートできるよう、事前の提出物依頼と情報の提供。

⇒エイドステーションでのお茶の飲み比べと、

地元住民の交流・おもてなしに対して非常に高い満足度。（非常に満足40%、満足55%）

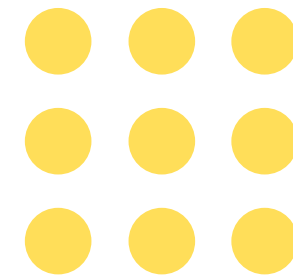
⇒東山地区の住民の方、エイドステーションをお願いしたお茶屋さんから

「あんなにたくさんの方が来てくれて嬉しかった」というご意見をいただいた。

運営側への改善ポイント

- 前回大会の反省を踏まえ、事前の協力依頼と周知、オペレーションと役割分担の徹底。
- 東山地区：30名（おもてなし芋煮）
- 倉真地区：20名（おもてなし焼芋）

シティプロモーション



SNSによる市内外へ掛川市をPR

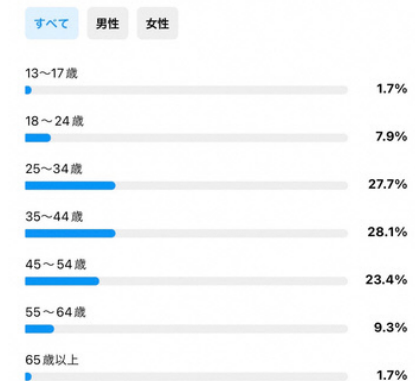
- 趣味である写真撮影を活かし、主にInstagramにて発信。
- 当初メインターゲットを「県外の20代・30代女性」と想定していたが、途中からメインターゲットを「県内の20代・30代女性」に変更。
- 加えて、「地域おこし協力隊」ということを明かして運用。
- 毎月のフォロワー数のKPI 5カ月連続達成。
一方で、フォロワーのファン率とアルゴリズムを向上させるためストーリーの運用の運用は行ったが投稿数：24件と少なかった。＜課題＞

- ⇒来年は、写真撮影・投稿する時間を計画しているので投稿頻度を上げてUPしていきたい。＜課題＞
- Instagram以外のSNS（TwitterやFacebook）について運用も検討していきたい。＜課題＞
- Instagramについては、タグの選定（大項目・中項目・小項目）と地点の追加などを更に徹底的に行い、県外の人には掛川のことを知ってもらい、行ってみたいと思わせるようなものに、県内の人、市内の人には求めている情報がきちんと伝わるように更にパワーアップしていきたい。＜課題＞

性別
(フォロワー)



年齢層
(フォロワー)



トップの場所
(フォロワー)



メディア掲載・情報発信

<新聞>

- 8月14日中日新聞
- 9月8日中日新聞
- 9月25日静岡新聞
- 2月17日静岡県西部静岡新聞びぶれ

<ラジオ>

- 12月28日(FM)K-mix レディオキッズ 移住者コーナーに出演

<広報かけがわ>

- 令和3年9月P.18地域おこし協力隊通信 https://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/fs/2/6/2/5/6/9/_/P18.pdf
- 令和3年11月号P.18地域おこし協力隊通信 https://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/fs/2/6/2/5/5/5/_/_____11__.pdf
- 令和3年12月号P.2.3市政重大ニュース候補 https://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/fs/2/6/2/5/4/6/_/__12__.pdf
- 令和4年1月P.18 地域おこし協力隊通信 https://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/fs/2/6/2/5/4/7/_/__1__.pdf
- 令和4年3月P.18地域おこし協力隊通信 https://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/fs/2/6/2/5/6/9/_/P18.pdf

<その他> ※プライベート

- 掛川〇〇ラジオ 全6回 パーソナリティ
掛川市内で頑張る人、これから何を成し遂げようとする人を紹介するYouTubeラジオ



<かけがわ栗ヶ岳山麓農泊推進協議会の事務局を通じて>

- 「掛川市地域おこし協力隊の芳川」でなく
「かけがわ栗ヶ岳山麓農泊推進協議会の芳川」だったからこそ
栗ヶ岳周辺地域の方々と短期間で深い関係性を築くことが出来た。

⇒①活動地域を市内全域に広める。

<シティプロモーションを通じて>

- SNSに写真等を掲載する際に、
所在地やアクセス等の情報を記載したところ保存数が増加
⇒②意外と市内や近隣市でも行ったことない、行ってみたい人がたくさんいる。

⇒③「人と食べ物」

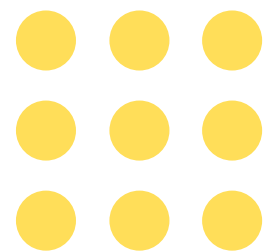
は、わざわざ出向く理由になるのではないかという仮説の検証。

<市民との交流を通じて>

- 第一声は「こんなに何も無いところに…」
でも仲良くなると実は「こんないいところがあるよ」
⇒④第一声から掛川こんないいところがあるよ！」と言ってもらえるように
「地域おこし協力隊」として掛川にご縁をもらい、引っ越してきたということ。

⇒⑤たくさんの人にお世話になっている。
恩返しをしたい。

今年度の気づき



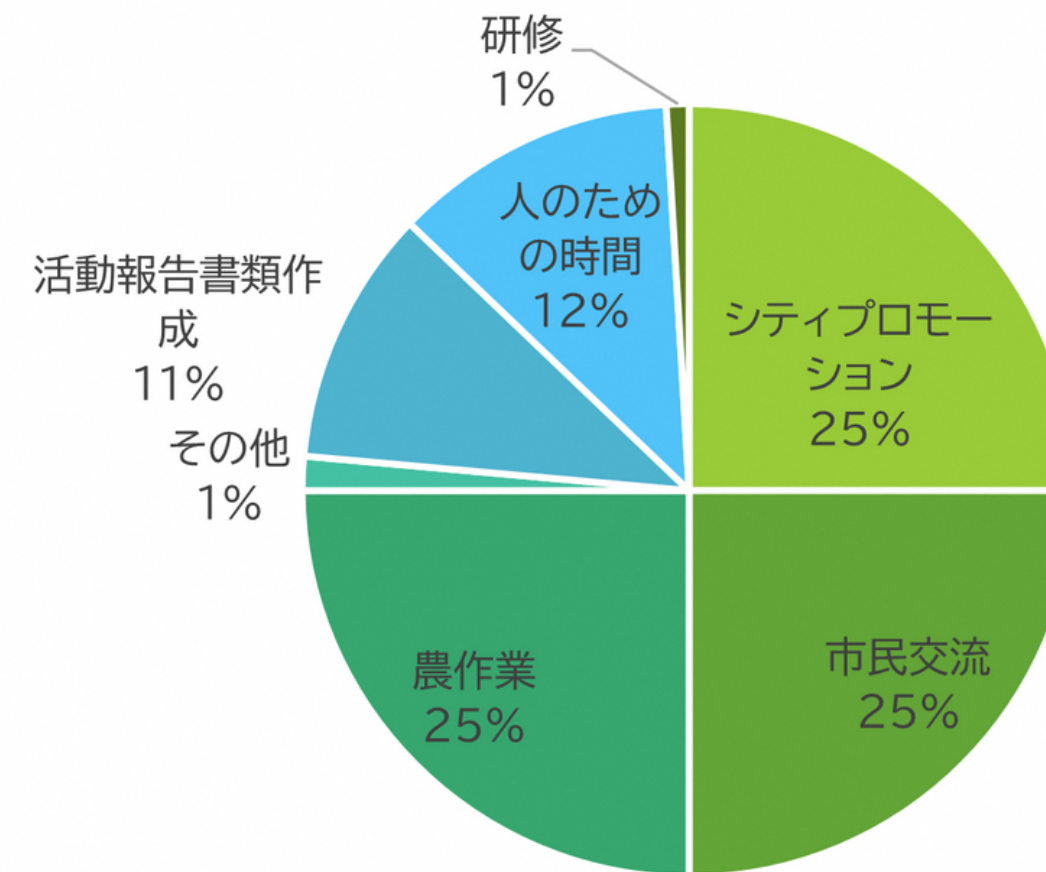
令和4年度 実施予定内容

シティプロモーション

SNSを活用した情報発信

定住のための就農準備

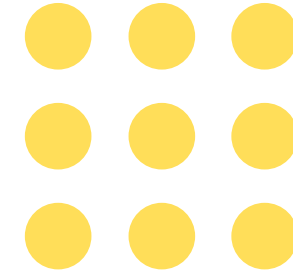
倉真地区の農地を借りる予定



n=240日、1680時間

※イメージ

令和4年度 実施構想



①活動地域を市内全域に広める。

- シティプロモーションの時間を使い、横須賀・大東地区のヒト・モノ・場所のPRを行う。

②市内や近隣市でも、行ったことない、行ってみたい人がたくさんいる

- SNSを運用を通じて、「こんないい場所があるんだ」ということ再認識してもらい（知る・調べる）
「実際に行ってみたい！」と思うような情報を発信していく。（訪れる）
- 「（仮称）かけがわ写真サークル」を立ち上げ、
写真技術の向上と交流を目的として開催し、掛川市全体の写真のアップ数と質の向上へ。
- 菊川市地域おこし協力隊と連携し、掛川・菊川地域として面で地域を盛り上げる。
- ボードゲームというツールを使用して人と人の交流の場を作りを行う。

③「人と食べ物」は、わざわざ出向く理由になるのではないかという仮説の検証

- 「この人に会いたい」と思わせるような、面白い人を紹介する媒体作りを行う。

④掛川市民に第一声から「掛川こんないいところがあるよ！」と言ってもらえるように

- 掛川市の良いところを、声にして形にしてたくさん伝えていく。

⑤たくさんの人にお世話になっている恩返しをする

- 地域おこし協力隊卒業後、定住していくための就農と生活基盤づくり。